

以前の高値をつけた時には、市場参加者はその価格よりも上の価格では買わなかったということです。そこからいったん調整が入り、再び上昇して戻ってきた時に以前の高値を超えることができたということは、時間の経過とともに、市場参加者の中で以前の高値を超えても問題ないというコンセンサスができるということです。

これは、安値でも同じです。以前の安値を下抜けられなかったけれど、時間の経過とともに、市場参加者が以前の安値よりも売っても問題ないというコンセンサスが取れているということです。

一つ前の主要な高値や安値をブレイクしたところを狙うのは、その流れに乗っていくということです。

実際のチャートで見ていきます。チャート①は買いエントリー例です。相場が上昇している中で、主要な高値を上抜けたポイント



上昇トレンドが発生している中で、一つ前の主要な高値を超えたところで買いエントリーをしました。その後の相場は上昇を継続しており、利益を獲得できた可能性が高いと考えられます。